

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和61年9月8日 第24報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	20		
(藍) <i>Anabaena affinis*</i>	2340	○	◎
(藍) <i>Oscillatoria sp.*</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	860		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	200		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(渦) <i>Gymnodinium sp.</i>	80		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	2560	◎	○
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	240		
(緑) <i>Glosterium aciculare var. subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	60		
(藍) 藍藻綱	2440	37.1	49.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1140	17.3	10.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	80	1.2	0.8
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	0.6	0.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	2880	43.8	38.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	6580	総体積	1.25E+07
種類数	12	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	2560

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Anabaena affinis*</i>	2340

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Anabaena affinis
(アナベナ)
藍藻綱

糸状体は単独または束状の群体をつくる。細胞は球形または短い樽形である。